

広島県西部保健所管内(大竹市・廿日市市)の インフルエンザの流行状況について

広島県西部保健所

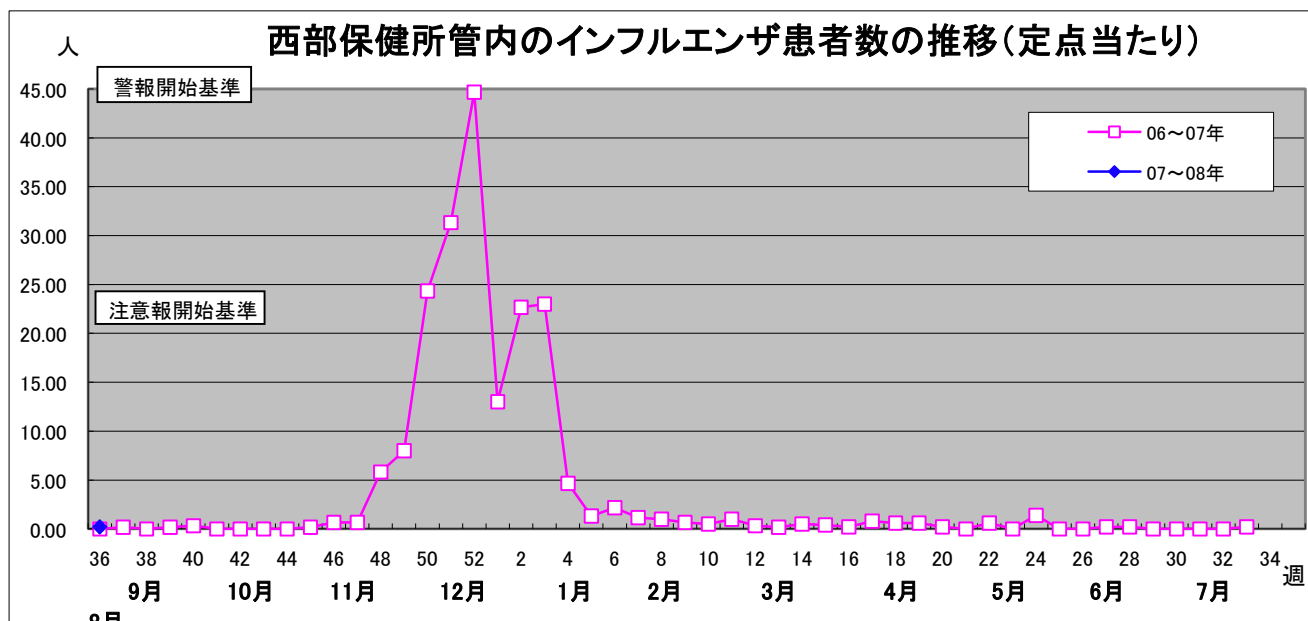
広島県西部保健所管内(大竹市・廿日市市)の定点医療機関等におけるインフルエンザ患者数等の状況は、次のとおりです。

(令和7年36週)

インフルエンザ定点医療機関において1週間に診断された患者数です。

(人)

期 間	西部保健所(大竹市・廿日市市)		広島県		全国	
	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり
7年36週(9/1～9/7)	1	0.20	28	0.30	1,949	0.50
7年35週(8/25～8/31)	5	1.00	19	0.20	1,347	0.35
7年34週(8/18～8/24)	0	0.00	11	0.12	1,183	0.31
7年33週(8/11～8/17)	1	0.20	17	0.20	980	0.28



※ 感染症発生動向調査に基づいて作成したものです。

○ インフルエンザの感染経路

【飛沫感染】感染者の咳やくしゃみの「しぶき」を吸い込むなど

【接触感染】汚染されたドアノブや机などに手が触れ、その手で口、鼻などに触れるなど

○ 感染拡大防止のための注意点

《 流水と石けんでこまめに手洗いをしましょう。》

外から帰ってきた時など、こまめに流水と石けんで手洗いを励行しましょう。

《 咳エチケットを守りましょう。》

咳やくしゃみの症状がある方は、咳エチケットを守りましょう。

《 予防接種を受けましょう。》

流行前に予防接種を受けましょう。ウイルスが侵入してきても、予防接種をしていれ

☆ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

☆ 厚生労働省が、「インフルエンザQ&A」を作成していますので、参考にしてください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/